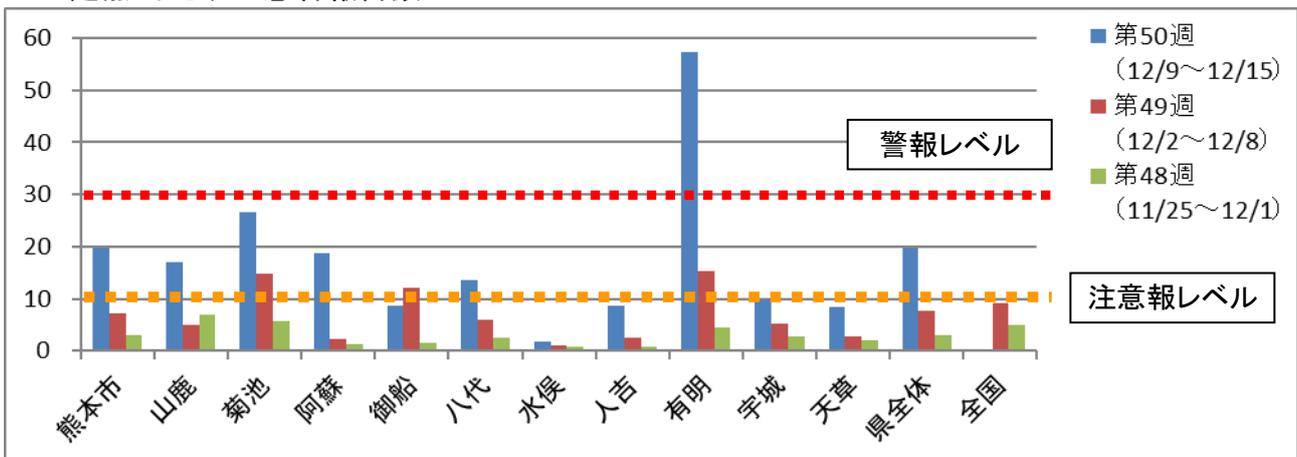


インフルエンザ患者報告数が、注意報レベルを超えました。  
～感染拡大防止に努めましょう～

- 令和6年（2024年）第50週（12月9日～12月15日）の熊本県感染症発生動向調査で、県全体のインフルエンザの一定点当たりの患者報告数（※）は、19.73（定点数79か所、報告数1,559）となり、注意報の基準値（一定点当たり10）を超えました。
- 保健所別では有明（一定点当たり57.38）、菊池（同26.63）、熊本市（同19.68）、阿蘇（同18.67）、山鹿（同17.00）、八代（同13.57）、宇城（同10.00）の順に高くなっています。
- これから患者数の増加が予想されますので、一人ひとりが正しい知識を身につけて、「定期的な換気」「場面に応じた適切なマスクの着用」「手洗い」などの基本的な感染対策をしっかりと実行しましょう。特に、医療機関や高齢者施設、保育所、幼稚園、学校など集団生活の場では、徹底した感染予防に努めてください。また、ワクチン接種も有効です。詳しい予防対策は、裏面や国、県のホームページを御覧ください。

※ 一定点あたりの患者報告数とは、1週間のうち定点医療機関（あらかじめ選定された県内79医療機関）から報告された患者数を定点医療機関数で割った値です。

<一定点当たりの患者報告数>



※ 全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報には第49週分までとなっています。

<保健所別一定点当たりの患者報告数>

網掛け：注意報レベル、警報レベル

	熊本市	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県全体	全国
第50週 (12/9~12/15)	19.68	17.00	26.63	18.67	8.60	13.57	1.67	8.60	57.38	10.00	8.43	19.73	
第49週 (12/2~12/8)	7.20	5.00	14.75	2.33	12.20	5.86	1.00	2.40	15.25	5.33	2.71	7.66	9.03
第48週 (11/25~12/1)	2.88	7.00	5.63	1.33	1.60	2.57	0.67	0.80	4.50	2.67	2.00	2.95	4.86

《参考》

厚生労働省ホームページ「インフルエンザ（総合ページ）」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html)

熊本県ホームページ「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましょう（2024-2025シーズン）」

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/217990.html>

(裏面あり)

(連絡先)

健康危機管理課 感染症対策班 担当：田副、嶋田

電話：096-333-2240（直通）（内線33154）

### 【現在のインフルエンザ流行状況】

- ① 全国の令和6年（2024年）第49週（12月2日～12月8日）の定点当たりの患者報告数は「9.03」となっています。  
※全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、1週前の情報になります。
- ② 今シーズンに入って国内各地で検出されたウイルスはA型が最も多くなっています。  
※インフルエンザウイルスは大きくA型、B型、C型に分類され、国内で報告されるのは、主にA型とB型です。

### 【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
- ③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、例年11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間には患者数が増加します。

### 【インフルエンザの予防法は？】

- ① 流行時には人混みを避ける。
- ② 20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを習慣づける。
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る。
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける。
- ⑤ 場面に応じた適切なマスクの着用を行う。
- ⑥ 医師に相談のうえ、ワクチン接種を検討する。

### 【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 安静にし、十分な休養を。学校や職場へは無理して行かない。
- ② 早めに医療機関を受診して治療を受ける。
- ③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
- ④ 周りの人へうつさないために、マスクをつけ、外出を控える。
- ⑤ せきエチケットを守る。
  - ◆ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
  - ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
  - ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。

### 【過去のシーズンのインフルエンザ流行状況】 第36週～翌年第35週までがシーズンと定められています

シーズン	流行入りした週 (※1)	注意報レベルに 達した週(※2)	警報レベルに 達した週(※3)	シーズン中、最も報 告が多かった週
2024～2025	令和6年第42週 (R6.10.14～R6.10.20)	令和6年第50週 (R6.12.9～R6.12.15)	—	—
2023～2024	昨シーズンから流行	令和5年第39週 (R5.9.25～10.1)	令和5年第47週 (R5.11.20～11.26)	令和5年第49週 (R5.12.4～12.10)
2022～2023	令和4年第50週 (R4.12.12～12.18)	令和5年第5週 (R5.1.30～2.5)	—	令和5年第6週 (R5.2.6～2.12)
2021～2022	—	—	—	—
2020～2021	—	—	—	—
2019～2020	令和元年第43週 (R1.10.21～10.27)	令和元年第49週 (R1.12.2～12.8)	—	令和元年第52週 (R1.12.23～12.29)

- 【国が定める基準】 ※1 流行入り ・ ・ 一定点当たりの患者報告数 1  
※2 注意報レベル ・ ・ 一定点当たりの患者報告数 10  
※3 警報レベル ・ ・ 一定点当たりの患者報告数 30